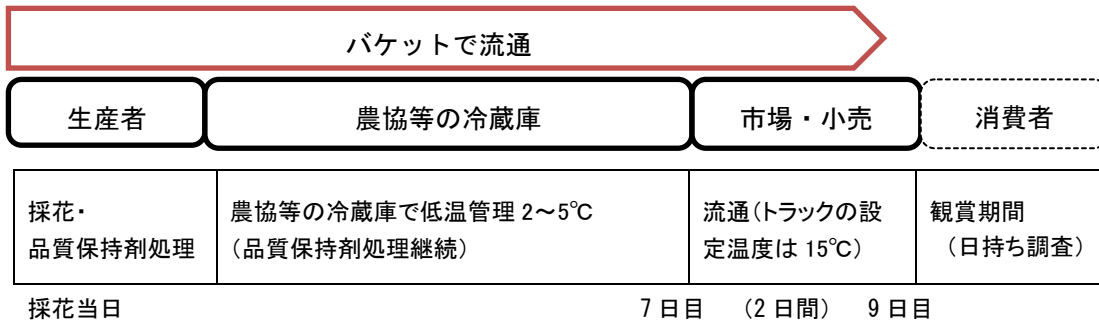


リンドウ切り花の出荷時期調整のための低温管理方法

【1 成果の内容】

- (1) 「恋りんどう」、「安代の夏」、「マジエル」の出荷時期を調整するため、以下のような管理を行うことで、産地1週間の出荷調整（貯蔵）が可能となります。



ア 採花は切り前 1.5 の硬切り（全農いわての切前表）とします。2～3段目の小花が圃場で開花しているものは低温管理中に老化花となるので使用しないでください。

イ 調製後は「ブルボサス（株）クリザールジャパン」100倍に生けて2～5℃の冷蔵庫で低温管理します。

ウ 輸送に使用するトラックは冷凍車（15℃設定）を使用します。

- (2) 以上の方法で管理を行うことで、1週間以上の日持ちが確保されることを確認しました（図1）。



図1 「恋りんどう」低温管理後観賞開始7日目の状態

【2 留意事項】

- (1) 気象等の関係で、頂花の開花が進まず圃場で2～3段目が開花してしまう場合は、低温管理を行わず通常の出荷にします。
- (2) 品質保持剤の処理は可能なかぎり水揚げ前に行います。水揚げ後に品質保持剤を吸収させると吸収量が減少し効果が十分発揮できません。
- (3) 取引先には産地での低温管理品であることを十分説明したうえで出荷してください。
- (4) 日持ち調査は室温 23℃で実施しており、これより高温の条件下では日持ち日数は短くなります。